

ときがわ町 議会だより



No. 80

令和8年1月23日



議会議員研修会後、ときがわ町議場内において（講師である岡山県美咲町青野高陽町長と）

ときがわ町民憲章

都幾川の清流は、豊かな森林や人々の歴史を育み、水と緑に囲まれた町「ときがわ」を作りました。先人から受け継いだ人と自然のやさしさを未来へ伝えるために、この美しい町に愛着と誇りをもって、私たちはこの憲章を定めます。

- 1 清らかな水と豊かな緑に調和した、快適で安全な町をつくります
- 2 人々が健康で共に支え合う、笑顔と優しさの広がる、温かい町をつくります
- 3 歴史と伝統に学び、新たな文化を創り出す、心豊かな町をつくります
- 4 子どもたちを健やかに育み、夢と希望に満ちた、明るい町をつくります
- 5 勤労に誇りとよろこびを感じる、活気あふれる町をつくります



目次

12月定例会報告	2～4
一般質問（10名）	5～10
議会報告会報告など	11
中学生議会報告	12

令和7年 第4回定例会

11月25日～11月28日

条例の制定

議案第52号

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

生後6ヶ月から満3歳未満で、保育所などに通っていないこどもを育てている家庭が、就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」が令和8年4月1日より新たに導入される。これに伴い、乳児等通園支援事業の設備や運営に関する基準を定めるため、条例を制定するもの。

問 対象見込み数は。

答 対象者は25世帯、26名を見込んでいます。

問 保育士の配置について。

答 0歳児において、保育士1人につき3人まで。1

12月定例会では、議員提出議案1件、町長提出議案16件、同意1件を審議し、すべて原案のとおり可決承認しました。

なお、一般質問には10名が登壇し、活発な議論が展開されました。

条例の一部改正

議員提出議案第2号

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

正 議会議員の期末手当の額及び議会議員の報酬の額を改正するもの。

要点1

人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の内容を踏まえ、議会議員の期末手当の額を年間「4・60月」から「4・65月」に0・05ヶ月引き上げるもの。

要点2

特別職報酬等審議会からの答申及び社会情勢の変化等を踏まえ、議会議員の報酬の額を令和8年4月1日から次のとおり改正するもの。

議長	286,000円	↓	330,000円
副議長	222,000円	↓	256,000円
常任委員長	208,000円	↓	248,000円
議会運営委員長	208,000円	↓	248,000円
議員	201,000円	↓	240,000円

議案第49号

町長等の給与等に関する条例の一部改正

令和7年人事院勧告等を踏まえ、期末手当の支給月数を0・05ヶ月引き上げるため改正するもの。

議案第50号

一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正

令和7年人事院勧告等を踏まえ、給与水準を見直すため改正するもの。
優秀な人材確保、若手の離職防止のため全体的に引き上げる。

問 職員の人材確保が強調されている。地域手当の動きについては。

答 地域手当については、今年度から適用されている。

12月定例会

ときがわ町を含む地域については、現状の4%で推移していくと認識している。

議案第51号

第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正

令和7年人事院勧告等を踏まえ、第1号会計年度任用職員の報酬等の支給に関する規定を整備するため改正するもの。

問 一般職は、基本給にプラス4%の地域手当が支給される。会計年度任用職員においては、相当分とのことだが、どのような内容か。

答 会計年度任用職員については、4%を含んだ額が最低賃金を上回る形での支給となる。

議案第54号

町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、引用している条文の条項ずれが生じたため改正するもの。

議案第55号

おためし住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
おためし住宅の使用料及び光熱水費の見直しにより所要の改正をするもの。

問 受領した使用料と光熱水費の1年の収入と支出は。

答 収入は53万7,500円。支出は85万4,722円。

問 予約システムとキャンセルの実績は。

答 予約はインターネット経由。キャンセルの実績はあるが、キャンセル料金はもっていない。



おためし住宅 やまんなか

議案第56号

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正

児童福祉法等の一部改正に伴い、規定を整備するため改正するもの。

問 要点の中で、保育所等において虐待が発生した場合と書いてあるが、具体的にはどのようなことか。

答 保育所等に從事する者による虐待について、県や市町村への通報が義務化された。

議案第57号

家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

児童福祉法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため改正するもの。

議案第58号

放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正

児童福祉法の一部改正に伴い、規定を整備するため改正するもの。

議案第59号

水道事業給水条例の一部改正

国からの通知に基づき、災害その他非常の場合において、宅内配管の早期復旧及び被災地における給水装置工事の適正な実施を図るため、改正するもの。

問 今、地元の指定業者は何者あるのか。

答 9者。

問 災害等の場合においてほかの自治体から応援が受けられるのか。

答 受けられるのは、個人の宅内の給水。

令和7年度 補正予算

議案第60号

一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,112万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億197万円とする。

○主な歳入

国県支出金

6,459万円

町営バス運賃収入

152万円

財政調整基金繰入金

2,960万円

○主な歳出

放課後児童健全育成事業費補助金

1,005万円

小中学校へ冷水機の購入(9台分)

315万円

電算システム(戸籍情報・人事給与)改修

121万円

人事院勧告に伴う人件費

2,406万円

問 自立支援医療費負担金(更生医療)の増額理由は。

答 18歳以上の身体障害者手帳の交付を受けた方が対象であり、更生のために必要な自立支援の医療費である。増額理由としては、対象者が増えたことによるものであり、当初予算では8名を見込んでいたが、補正予算では12名を見込んでいます。

議案第61号

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

12月定例会

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ102万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ15億3,493万円とする。

○歳入

保険給付費等交付金

102万円

○歳出

子ども・子育て支援金制度創設に伴うシステム改修業務委託 102万円

【問】 システム改修の内容は、今回の改修は、令和8年度の子ども・子育て支援納付金の課税部分のみである。

議案第62号

介護保険特別会計補正予算

(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ84万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億7,262万円とする。

○歳出

介護保険制度改正に伴うシステム改修費 84万円

議案第63号

水道事業会計補正予算(第2号)

(収益的)

支出の予定額に175万円を追加し、支出合計を3億3,910万円とする。

議案第64号

浄化槽事業会計補正予算(第2号)

(収益的)

収入の予定額に80万円を追加し、収入合計を1億6,225万円とし、支出の予定額に54万円を追加し、支出合計を1億5,886万円とする。

(資本的)

支出の予定額に26万円を追加し、支出合計を4,280万円とする。

その他議案等

同意第4号

監査委員の選任

令和7年11月28日をもって退職した議会選出監査委員の後任に、小島利枝氏を選任する。

令和7年 第4回定例会 審議した議案と各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対、「―」は議長

議案番号	議案名	畑豊	杉田健司	長島金作	小島利枝	田中紀吉	山中博子	前田栄	小宮正	岩田鑑郎	野原和夫	神山俊	審議結果
議員提出議案第2号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第49号	町長等の給与等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第50号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第51号	第1号会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第52号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第53号	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第54号	町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第55号	おためし住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第56号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第57号	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第58号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第59号	水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
同意第4号	監査委員の選任	○	○	○	除斥	○	○	○	○	欠	○	―	同意
議案第60号	令和7年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第61号	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	―	可決
議案第62号	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第63号	令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決
議案第64号	令和7年度浄化槽事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	―	可決

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

※除斥…議会における審議の公平性を期すため、議題になった案件と一定の利害関係にある議員は、その審議に参加することができません。

町の考えを問う

10 議員が一般質問に立つ

全 質 問 事 項

田 中 紀 吉

1. ときがわ町公共施設等総合管理計画の進捗状況について
2. 中学校の統合について

長 島 金 作

1. 小中学校統廃合について
2. ときがわ町町長が社会福祉協議会会長を兼務することについて
3. 第二次総合振興計画について
4. 第三次総合振興計画について

野 原 和 夫

1. 「こども誰でも通園制度」について
2. 社会保障の充実を

杉 田 健 司

1. 林野火災の発生を防ぐために

畑 豊

1. 本町の防災・減災等について

小 宮 正

1. 町道都 719 号線道路改良工事（馬場地内）の改良区間延長の考えは

山 中 博 子

1. 都幾川中学校と玉川中学校の統合を
2. やすらぎの家の裁判の継続を

前 田 栄

1. ふるさと納税の現状と今後の展望について

小 島 利 枝

1. 保護者の不安に寄り添い「こどもまんなか」の視点で対応する専門窓口の設置を
2. 「ときがわ一つ星大学」に女性活躍の人材を育てる学びの場を

神 山 俊

1. 「こどもまんなか社会」の実現を
2. 当町の財政状況（運営）について

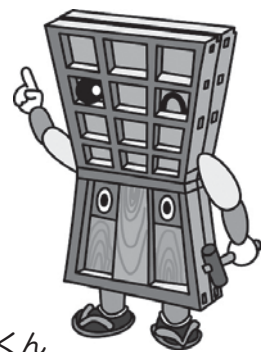
一般質問とは

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行部に対し疑問点をただしたり、政策の変更、是正、あるいは新規施策の提案などを行うことです。

ときがわ町議会では、質問は一問一答方式であり、一議員あたり質問、答弁を含めて60分以内の制限があります。

また、質問議員に対して執行部側から質問ができる反問権が認められています。

※各議員のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、一般質問の録画配信をご覧いただけます。



しょうじくん

12 月定例会の傍聴人数

11 月 25 日 (火)	23 名
11 月 26 日 (水)	9 名
11 月 28 日 (金)	2 名

議会を傍聴しませんか
 次回の定例会は
 3月4日(水)に開会予定です。



中学校の統合を

田中紀吉



教育長 慎重かつ丁寧に研究を進めていく



問 近隣自治体の状況及び将来予測は。

答 小川町では小川西中学校と樺台中学校が統合し、小川中学校に、令和12年には、小川東中学校と小川中学校が統合し、小川町の中学校は1校になる予定。嵐

山町では、令和11年度に菅谷中学校と玉ノ岡中学校が統合し武蔵嵐山中学校になる予定。

5年後の生徒数の将来予測については、都幾川中学校95名、玉川中学校86名となり21名減少する予測。

問 統合の検討委員会（審議会）を設置する考えは。

答 現時点では設置する考えはない。

問 文化祭、体育祭、修学旅行、部活動など合同実施可能なことから、着手する考えはあるか。

答 現在、2校の野球部が合同チームで大会に参加している。今後も合同実施が可能なものについては、検討していく。

問 統合及び新設を考えた時、両校の校歌、校章、制服、校則などを一旦廃止して、新たに「新設ときがわ中学校」として設置することを提案するが町の考えは。

答 意見として参考にする。

※「ときがわ町公共施設等総合管理計画の進捗状況について」も質問した。

小中学校統廃合について

長島金作



教育長 学校の在り方について研究を始めた

問 小学校は地域のシンボルであり、ときがわ町の3校の小学校は、地域の衰退、消滅に直接関係することから、統廃合すべきではないと考える。中学校は適正規模、適正配置から生徒数だけの規模では町内に1校を

えは。

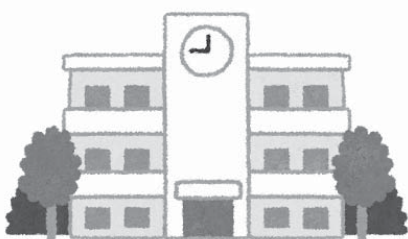
答 学校の適正規模の在り方について研究を始めた。引き続き調査研究に取り組む。

第三次総合振興計画について

問 今年度中に入札執行及び契約を締結し、来年度当初から策定作業に着手、策定に伴い審議会を立ち上げる予定。

※「ときがわ町長が社会

福祉協議会会長を兼務することについて」、「第二次総合振興計画について」も質問した。





「いつでも誰でも通園制度」について 野原和夫 町長 運営が適切に行われるよう事業者と連携を図っていく



問 利用方法、料金、補助単価、実施施設は。

答 利用方法は、保育所等に通っていない生後6ヶ月から満3歳未満の乳幼児を対象に、月10時間の枠内で、時間単位で利用できる制度。利用料金は、1時間あたり

300円となる。補助単価は12月末までに国より示される予定。実施施設は、玉川保育園と平保育園を予定。問 2026年度の本格実施からは、利用者と事業者の直接契約となるが、町の責任及び関わりは。

答 町は、事業所の認可、事業の確認、利用者の認定を行う立場にあり、事業者や利用者との関わりを持つものとなる。問 実施にあたり、受入れ側となる保育現場にとって条件設定が低すぎないか。

答 「ときがわ町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」において設備や職員、運営管理等の最低基準を定め、安全に運営するよう規定する。

※「社会保障の充実を」も質問し、国民健康保険税の減免、後期高齢者医療保険料の引き下げ等を求めた。

林野火災の発生を防ぐため、「火災予防条例」制定の考えは 杉田健司



町長 「比企広域市町村圏組合火災予防条例」の改正を準備している



問 本年2月26日に発生した大船渡市林野火災の教訓を踏まえ、林野火災の予防

改正した。そこで、次の点について伺う。

上危険な気象状況となった際、住民に対し注意喚起及び火気使用制限を行う制度を整備するため、消防庁は

比企広域市町村圏組合における火災予防条例改正の働きかけや、町で条例を制定する考えはあるか。

火災予防条例（例）を一部

現在、「比企広域市町村圏組合火災予防条例」の

改正に向けて準備している。町は、比企広域市町村圏組合の構成市町村であり、「比企広域市町村圏組合火災予防条例」が適用されるため、条例の制定は不要となる。

問 延焼防止の観点から、

森林内やその外周に一定の幅の空間地帯、いわゆる防火帯を整備していくのが有効と考えるが、町の考えは。





当町の安心安全のための防災・減災等について

畑 豊



町長 当町の統一防災訓練は、町民参加型の避難誘導訓練の実施を検討する



問 直近2年間地域住民の防災訓練が実施されない理由は。

答 令和6年度は、台風接近の影響で中止とした。令和7年度は、「九都県市防災合同訓練」視察のため、訓練を行わなかった。

問 防災訓練等を熱中症のリスクが低い時期に実施できないか。

答 熱中症のリスクが低い時期（5月頃）に統一防災訓練等を実施・検討する。
問 エアコン設置（買替）等に補助を。

答 当町は、補助要綱を定めていない。埼玉県内の市レベルでは、二酸化炭素の排出量の低いエアコン（☆3以上）に補助の支給が見受けられる。今後、各課で連携し考える。
問 災害時要支援者行動要

支援者名簿の取組みは。
答 統一防災訓練等を実施する中で実際に訓練が重要なので要支援者の方にも参加・連携をしてもらう。
問 本年3月発行のハザードマップの活用は。
答 町内の小・中学校の児童、生徒では、防災授業で活用している。今後、地域住民の方に、防災教育を積極的に行政から働きかける。

町道都719号線道路改良工事（馬場地内）改良区間延長は 小宮 正



町長 地元区長と連携を図りながら進めていく



問 令和7年度に着工した町道都719号線の道路改良工事については、用地買収もすでに完了していることから、令和8年度以降も工事を進めていく計画である。都719号線南側の工事終点部から馬場公会堂

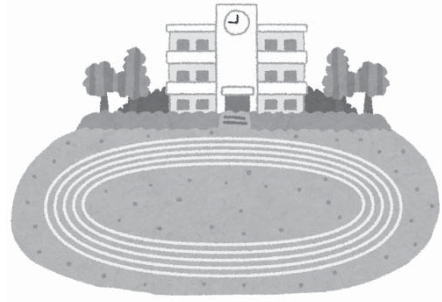
までの町道2-27号線には、約70mの未改良で狭い区間が残っている。緊急車両の進入路として重要である。小・中学生の通学路として利用しているこの区間を整備することで通行の安全、町民の利便性も高まる

と思うが町の考えは。
答 現在、町道都719号線の藤間橋から北側の区間について、道路改良工事とともに、藤坂分譲地の拡張を実施しており、藤間橋から南側の区間についてもすでに用地買収を完了し、来

年度、道路改良工事を計画している。
この路線の南側に接続する町道2-27号線については、馬頭観音堂までの約70mが未改良であり、緊急車両の通行困難や、普通自動車とのすれ違いが来ず、不便が生じている。地元区長と連携を図りながら道路改良を進めていく。



町道2-27号線



都幾川中学校と玉川中学校の統合を

山中博子



教育長 学校規模の適正化の観点から学校の在り方等について研究を始めた



問 学校施設の環境改善の中の陸上トラックのタータン化と野球場のホームベースの正常位置移動の件は実施できるのか。

答 タータン化は一千万円単位の費用がかかると想定されるので実施は難しい。

問 ホームベースの件は早期実施を含めて検討する。

答 岡山県美咲町の視察でどのようなことが当町に活かせるのか。

やすらぎの家の裁判の継続を

問 民法第95条を行使して和解を取り消し町民の大事な税金を取り戻す意志はあるのか。

答 和解無効の訴えを提起

する予定はない。
問 町長への手紙は全てに目を通し、返事は全て町長の言葉なのか。
答 全てに目を通し、私の考えに基づき回答している。
問 6回に渡るAさんからの町長への手紙の返事はあまりにも優しくなくこれでは出しても無駄だと町民は思うのでは。
答 既に裁判関係は完結しているので対応しない。

ふるさと納税の現状と今後の展望について

前田 栄



町長 寄附の目的に沿った各事業の財源として活用



ふるさと納税は、地方と都市の格差是正・人口減少地域における税収減少対応と地方創生を主な目的とし、2008年から開始された税制の一つである。

問 ふるさと納税寄附額において、本町は2023年

63市町村中62位であったが、2024年は54位であった。どのような努力をしたのか。

答 都内や他の自治体イベントに参加しPR、町内事業所へ協力の働きかけ、返礼品として使える電子決済の導入、寄附金受領証明書

に記念品を同封するなど、担当者が熱意をもって取り組んだ。

問 本町における寄附金の具体的な使途と成果は。

答 水源地域の森づくり事業、川のまるごと再生町事業、サイクリング環境整備

事業、子育て支援事業等13事業の目的に活用。

成果としては、ときがわ町と何ら関係のなかった寄附者と繋がりができ、また、歳入も増加し、寄附の目的に沿った各事業の財源として活用している。町としては、町を応援したいという方が一人でも増えるよう努めていく。





保護者の不安に寄り添い「こどもんなか」の視点で対応する専門窓口の設置を 小島利枝 教育長

今後も現在の相談体制で対応していくため、専門窓口は考えていない



問 保護者から学校側に意見・相談があった場合の対応は。

答 担任の先生や校長、教頭が対応し、必要に応じてスクールカウンセラー又はスクールソーシャルワーカーに繋げる。

問 多様化する相談に対する取り組みは。

答 令和7年度よりスクールカウンセラーの配置を町費により月2回プラスし、相談体制の充実を図った。

問 家族相談支援センター内に学校・家庭・行政の横

断的支援を行う相談窓口設置の考えは。

答 今ある相談体制を充実させていく。

「ときがわ一つ星大学」に女性活躍の人材を育てる学びの場を

問 来年度の講座に組み入れられるとのこと、内容は。

答 女性が活躍していく上での講義。

問 講義だけでなくお互いに意見交換できる場を設けては。

答 まずは講座という形で始め、少しずつ醸成できればと考える。

当町の財政状況（運営）について

神山 俊



町長 このままでは、近い将来の財政状況は不安な状況にあると考えている



問 現在の財政状況と今後の予測は。

答 町の財政状況は黄色信号が灯っている。令和6年度決算における実質公債費比率が5.7%、将来負担比率「なし」、と悪くない数値となっているが、この

数値は、あくまでも現状の起債残高や基金残高などを元に分析しているもので、将来的に発生する負担等については、加味されていない。また、財政状況を見る別の指標として、経常収支比率がある。これは、町が

数値は、あくまでも現状の起債残高や基金残高などを元に分析しているもので、将来的に発生する負担等については、加味されていない。また、財政状況を見る別の指標として、経常収支比率がある。これは、町が

経常的に収入している地方税や普通交付税等の一般財源のうち、必ず毎年支出しなければならない人件費や扶助費、公債費などの経常経費の割合を示すものだが、令和6年度決算では、この割合が95.3%となってい

る。例えば、道路の維持補修などの区長要望に対応するための経費といった臨時的経費は、この残り4.7%の中で賄わなければならない。今後、更なる物価高騰などの社会情勢の変化や人口減少に伴う歳入の減少が進んでいくと、この割合が100%に近づいていき、臨時的経費による事業に対し、予算配分が出来なくなる。

※「こどもんなか社会」の実現を」も質問した。



議会報告会報告など

11月16日（日）午後2時より、都幾川公民館3階講堂にて、15名の参加をいただき議会報告会を開催しました。

令和6年度の決算状況について、決算特別委員会より報告、質疑応答が行われました。その後、「公共施設の統廃合について」3つのグループに分かれて意見交換を行いました。

ご参加いただいた皆さまからは活発な意見が出されました。この議会報告会は、町民が議会の活動や町政について理解を深め、意見を直接伝える貴重な機会となっており、町議会では、今回の報告会で出された意見等を今後の議会活動に活かし、より一層開かれた議会運営に努めてまいりたいと考えております。

〈参加者アンケート結果〉

（項目未記入あり）

- ①年 代 40代1名、50代5名、60代2名、70代以上6名
- ②住まい 町内15名、町外0名
- ③参加回数 はじめて4名、

2回目3名、3回目3名、4回目以上4名

④開催を何で知ったか。

回覧5名、議会だより4名、町HP1名、議員・知人4名

⑤内 容 よく分かった2名、まあまあ分かった7名、分かりにくかった1名

⑥会 場 広すぎる1名、地域の集会所を希望3名、公民館を希望3名

⑦開催希望日 土曜日3名、日曜日9名、いつでも1名

⑧開催希望時間帯 午後9名、いつでも1名

・意見等

- ・バス、乗り合いタクシーの問題をテーマにしてほしい。
- ・空き家対策に全力投球していただきたい。
- ・バスターミナルは、明覚駅にしてもらいたい。
- ・人口減の問題は、危機的状況だと思う。テーマに希望する。
- ・今日出た町民の声を、議会に活かしてもらえると

うれしい。

・議員さんが、やさしくて、発言しやすかった。たくさん話を聞いてもらえて嬉しかった。

・公共施設の削減は、困難な課題と思うが、将来を見すえて取り組んでほしいと思う。

・安心して住める町づくり、外国人住民の問題などをテーマにしてほしい。

・町の課題（空き家問題、過疎化問題）などについて、深く知ることができた。今後の町の発展に向けては、多々の課題があるが、一人ひとりが高い意識をもって対策をしていくことが大切だと感じた。



議会の動き



のらびたん

10月

2日 議会議員全員協議会

7日 議会報編集委員会

8日 都幾川町議会議員会

10日 議会報編集委員会

21日 中学生議会リハーサル（玉川中学校）

30日 中学生議会開会

4日 都幾川町議会議員会

6日 議会報編集委員会

16日 議会報告会

18日 議会運営委員会

25日 議会議員全員協議会

26日 議会報編集委員会

27日 議会議員全員協議会

19日 議会報編集委員会

10日 越生町・鳩山町・ときがわ町議会議員合同研修会

12月

三波くん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

ひもかわさん

小川地区

衛生組合議会報告

令和7年10月31日に第3回臨時会が開催され、議長及び副議長が選任された。

○議長

高瀬勉氏

○副議長

伏守勝義氏

（嵐山町議会議員）



議員の辞職

前田栄議員が、令和7年12月15日をもって辞職しました。

中学生議会報告

町制施行20周年記念事業 中学生議会を開会しました

将来を担う中学生に議会の意義や仕組みを理解してもらうとともに、中学生の声に耳を傾けることにより、大人になってからも「ときがわ町に住みたい」と思える町づくりを進める機会とするため、中学2年生を対象に、10月30日（木）中学生議会を開会しました。

●グループワーク（9月18日・19日）

議員が各中学校を訪れ、地方議会や一般質問について、説明しました。

説明後、中学生が日頃から感じる課題や疑問を整理し、一般質問にまとめる支援を行いました。



都幾川中学校グループワーク



玉川中学校グループワーク



玉川中学校リハーサル



都幾川中学校リハーサル

●リハーサル（10月10日・21日）

議場にて、中学生議会当日の流れを確認するため、リハーサルを行いました。

挙手や返事、一般質問の方法を確認した後、中学生議長による議事進行の下、当日の流れを体験しました。

●中学生議会開会（10月30日）

中学生議会当日は、実際の町議会本会議の流れに沿って、中学生議員の中から選出された議長（玉川中学校：廣田咲大議長・都幾川中学校：ムリガン董議長）の議事進行により行われました。

各中学校6グループから1問ずつ一般質問が提出され、各グループの代表者が登壇し、中学生ならではの視点から提案を行いました。



都幾川中学校 中学生議会



玉川中学校 中学生議会



玉川中学校 廣田咲大議長



都幾川中学校 ムリガン董議長

一般質問一覧

【第1部（玉川中学校）】

- ・歩道の環境整備を（第1グループ）
- ・町内山林にアウトドアパークの整備を（第2グループ）
- ・学校施設にさらなるエアコンの設置を（第3グループ）
- ・本町の交流人口増加のため道の駅の建設を（第4グループ）
- ・公共施設の有効活用について（第5グループ）
- ・教育環境の充実について（第6グループ）

【第2部（都幾川中学校）】

- ・都幾川中学校と玉川中学校の統合を（第1グループ）
- ・プールの整備と開放について（第2グループ）
- ・体育館等へのエアコン設置について（第3グループ）
- ・明覚駅にもチャージ機の設置を（第4グループ）
- ・部活動の環境整備について（第5グループ）
- ・給食内容の充実を（第6グループ）

編集後記

現在の議員による最後の定例会が終わった。

任期4年間を振り返り、議会改革として、新たな取り組みを行った。

「予算決算特別委員会の設置」は、各課ごとに担当者に参加することで、より細かな説明を受けることができるようになった。

また「動画配信事業」は、住民の皆さんが365日24時間、いつでもどこでも議会を傍聴できるようにすることで身近な議会、開かれた議会の一助にとの思いで配信が始まった。

2月からは新しい議会議員構成となるが、町民のため、町の発展のために寄与する議会となるよう、切に願う。

議会報編集委員会

委員長 杉田 健司
副委員長 小島 利枝

前田 栄
小宮 正
野原 和夫

この議会だよりは、議員の自主編集で発行しています。

防災行政無線テレホンサービス（無料）
Tel 080-0800-8432（携帯電話からも可）

ときがわ町議会だより

12